

丁田町の家

4人家族のために計画された賃貸駐車場併用住宅。敷地は名古屋市名東区丁田町。地下鉄の駅から徒歩10分圏内であり、高速道路のインターチェンジも近い。小売店や飲食店も多数点在し、街で住むことの利便性が非常に高く、今後も人口増加が予測される。そのため、敷地周辺に存在する駐車場は、この先、低層集合住宅が建てられていくことが予想される。そこで、駐車場に対する需要に応えつつ、近からの騒音や日照に配慮し、街の景観にも貢献するよう設計をおこなった。

RCの人工地盤で広いテラスを含む居住スペースを2、3階に上げ、地盤周囲の花壇を植えることによって、光・風などの自然環境とプライバシーの確保、貸し駐車場として地域へのスペースの提供、街への景色の貢献を同時に実現している。2、3階は木造にすることで、今後の改修や、内装の変更などを容易にし、中学生の子供が、将来親世代とともにこの家に帰ってくる可能性にも対応している。

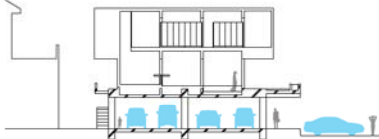
住宅内部では、2階は門扉と柱の高さの差だけで壁や天井の境を区切り、3階は空間を全体的につなげたまま、階間で視線遮断する仕組み。3階の行為の場や居住性を確保しつつ、床の高さをより60cm高くし、床の仕上げで区別することで、3階が2階から空間を繋いで一体感を演出する。また、光が差し込むように、階段の開口を設ける。1階は、街の今後は大規模な再開発が予想される。歩かない道を互いに「共有」の空間として活用を考えた。周辺住民に駐車スペース、街に人工地盤の緑の風景を、その外観や家数増加は設備をできるだけシェアしていく。時代の環境の変化に対応して、貸し方、改修、住み方をフレキシブルに変えていく、プロトタイプとしての提案である。DHCのような住宅がこの地域に増えることで、街としての魅力が更に高まることを期待している。

概要	所在地
所在地	名古屋市名東区丁田町
構造	RC造・木造 混合
階数	地上2階建
敷地面積	204.35㎡
建築面積	94.44㎡
延床面積	135.35㎡



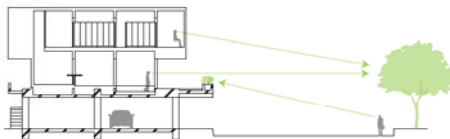
3つのシェアがつくりだす繋がり

住民と駐車場をシェアする



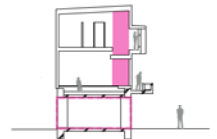
周辺住民と駐車場をシェアすることで街と共存する。今後の人口増加による駐車場の需要に対応していく。

周囲と緑をシェアする



東側の小学校の緑を借りて、人口地盤の緑を街に貸す。視線を遮りつつ、街の緑と一体になっていく。

家族で居場所をシェアする



行為の空間と動線の空間を段差によりゆるく区切る。1階は家族が増えた時にリノベーションの可能性も残している。



道路側から外観をみる。周辺住民に駐車場を提供する。



1階から東方の、学校の緑をみる。1階スペースと2階へ上がる階段の緑。



動線から子供室をみる。家族の行為をゆるく区切る段差と門扉。

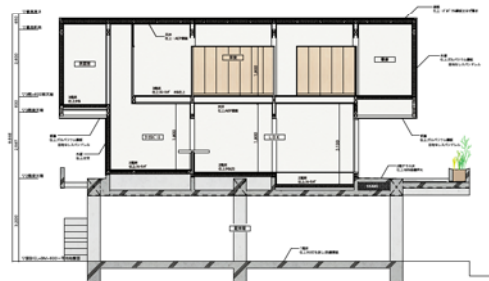
配置図 S=1:5000



3階平面図 S=1:100



2階平面図 S=1:100



断面図 S=1:100



2階キッチンから南方をみる。レベル差により3階を歩く人の気配を感じ取る。



3階動線側から、家族の居場所となる出書を見る。



道路側から外観をみる。路上駐車を促す窓が多数みられ、駐車場の需要が高いことがわかる。



3階子供室から南をみる。行為の場と動線の場を段差によりゆるく繋げる。



3階動線側から東方をみる。階間と出書空間が連続する。